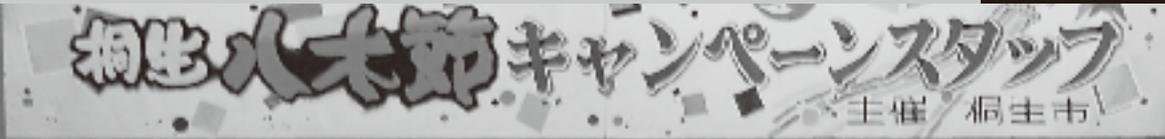


きりゅう 市議会だより

平成25年8月1日

No.233



平成25年度桐生八木節キャンペーンスタッフ八木節踊り披露（中央公民館市民ホール）

平成25年第2回定例会は、6月7日（金）に招集され、6月26日（水）までの20日間の会期で開かれました。

この定例会では、市長提出議案など10件の審議を行い、それぞれ可決又は同意しました。

また、議員提出議案5件の審議を行い、それぞれ可決しました。

主な掲載記事

- 一般質問 2~4
- 各種委員の選出・人事案件 4
- 新特別委員会を設置 5
- 主な議案・一般会計の補正予算 6
- 議案と結果・お知らせ 7
- 意見書 8

一般質問

質 問 者	飯島英規(無会派)
	人見武男(創志会)
	北川久人(創志会)
	佐藤幸雄(桐新会)
	山之内肇(公明クラブ)
	森山享大(創志会)
	周藤雅彦(フォーラム桐生)
	渡辺修(無会派)
	福島賢一(桐新会)
	西牧秀乗(無会派)
	伏木康雄(無会派)
	小滝芳江(フォーラム桐生)
	井田泰彦(無会派)
	岡部純朗(無会派)

6月25日(火)・26日(水)の2日間にわたり、14人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の後のカッコ内は所属党派名(無会派は、会派に属さない議員)

シリコンバレー構想

飯島 英規(無会派)

質問 企業誘致ではなく、頭脳を誘致するという考え(群馬大学理工学部)



で、地球環境問題に絞ったシリコンバレーを桐生につくる考えは。

答弁 現在桐生市では、群馬大学理工学部と密接な連携のもと、産学官連携を通じた環境関連の取組みを積極的に推進しているが、世界に誇れる「環境先進都市」として認知されれば、有能な人材や研究機関、環境関連企業等の誘致に期待が広がり、地域産業にも波及効果をもたらすものと考えられる。今後、群馬大学理工学部を核とした産学官連携の中で、研究を深めたい。

市内体育施設の使用料

北川 久人(創志会)

質問 市内のチームが市外のチームと対戦した場合の料金体系の見直しについて。

答弁 現在の料金体系は市内の方に多く使用していただく観点から、市外チームと対戦の場合、市外料金として取り扱っているが、近年、スポーツ環境を取り巻く状況が変化しており、レベルの高いチームと対戦することは、競技力のレベルアップに大きく寄与し、



それが地域のスポーツ振興に果たす役割は大きいものと考えられる。今後、市内料金として取り扱う方向で検討したい。(桐生市民体育館)

梅田台緑地の整備について

人見 武男(創志会)

質問 今後の整備計画は。

答弁 梅田台緑地は桐生川ダムが一望できる高台にあり、四季折々のすばらしい自然景観が眺望でき、梅田地区の観光振興を考えると、整備促進は必要と考えられる。現在、用地取得がほぼ完了し、粗造成が行われ、一部、園路や植栽の整備を行っている。隣接地には地元で植栽したロウバイ(蠟梅)エリアや県のダム周辺整備ゾーンがあり、休憩場



(梅田台緑地)

所や散策などに利用されている。今後、整備計画や整備手法、利用方法等を、地元や関係者のご意見を伺い、実現に向け検討したい。

海外販路開拓支援事業

佐藤 幸雄(桐新会)

質問 台湾との今後の交流として、桐生商業高校の生徒を送り込みたいと示しているが、スケジュールは。

答弁 桐生商業高校の研修旅行のスケジュールについては、現在のところ決まっていないが、同校の意向としては、キャリア教育の一環として日本人が働く企業の視察や現地の高校生との交流を考えている。台湾教育部には、計画の実現に向けた情報収集、交流先の



企業や高校の選定について協力をいただくことになっており、今後も双方方向での交流に向け、継続的に取り組んでいく。(桐生商業高校)

防犯灯のLED化事業

山之内 肇(公明クラブ)

質問 設置主体として責任ある対応をしていくべきと考えるが見解は。

答弁 性能や問題等について研究し、トラブルが発生しないように取り組む。

質問 防犯上、必要性を認識しながら、個々の自治会・町会の財政的理由で設置が難しかった、集落の間や通学路などの問題箇所は市がもっと積極的に関与してメスを入れて欲しい。
今回の事業を契機に管理



(LED防犯灯)

主体を行政に移行していくべきと考えるが見解は。

答弁 管理主体を行政に移行することについては今後の検討課題としたい。

自主財源確保

森山 亨大(創志会)

質問 自主財源を確保するために取り組んでいる事(市庁舎内の自動販売機)



業内容と効果額は。

答弁 自動販売機設置事業者公募入札や、封筒・広報・ホームページへの広告掲載、車両広告、遊園地のネーミングライツなどを実施している。

特に、自動販売機設置事業者公募入札による効果額は、平成二十三年度決算額が千五百九万円、平成二十四年度決算見込額が二千五百五十万円となっており、公募方式でなかった平成二十二年度三十四万九千円と比較すると、大きな効果があったものと認識している。

地域医療

周藤 雅彦(フォーラム桐生)

質問 地域医療充実の観点から、厚生総合病院をどのように考えるか。

答弁 地域の拠点病院としての役割を果たしていけるよう、各種医療機器の整備や人材確保などの支援を行っている。

質問 類似病院では離職率が高い状況にあるが、厚生総合病院における看護師の離職状況と人員確保策は。

答弁 昨年度は十四人が退職し十七人を採用した。



(桐生厚生総合病院)

人員確保策として、看護学校への訪問、看護職員就職ガイダンス及びインターンシップ研修の開催など積極的に取り組んでいる。

国保事業に係る桐生市としての対応

渡辺 修(無党派)

質問 国庫負担金の割合に係る桐生市の対応や要請(桐生市役所)



について。

答弁 各自自治体の財政状況によって差があつてはいけないことから、大きな財源を必要とする事業に対しては、安定財源が確保できるように組織体制にすることが大切であると考えている。

国保事業は大変大きな財源を必要とするため、各自自治体による国保運営ではなく、群馬県一本化にした広域的な形での運営をお願いしているところであり、また、市長会を通して国へ働きかけているところである。

定住化促進条例の制定

福島 賢一(桐新会)

質問 桐生市定住化促進条例制定の考えについて。

答弁 空き家・空きスペースなどの実施や、黒保根町における桐生市過疎地域定住促進条例を制定しているが、人口減少の歯止めには至らないため、昨年五月に桐生市人口減少対策検討委員会を組織し、人口減少に対する施策をまとめた提言書を作成した。現在、人口対策室を中心に全庁体制で施策の具体的な検討を行



(桐生市役所)

い、可能なものから実施するよう指示している。

条例制定については、事業の進捗を図る中で検討していきたい。

子宮頸がん予防ワクチン

西牧 秀乗(無党派)

質問 厚生労働省から接種の積極的な勧奨の一時差し控えを行うよう勧告があつたが、対象者への周知は。

答弁 接種の有効性とリスク等について、中学一年生には同省のリーフレットを各学校を通して全員に配付し、既に接種している生徒が多い中学二・三年生には学校の保健だより等で周知するよう依頼した。高校一年生には県から県教育委員会・私学連合会に通知さ

れている。なお、予防接種協力保険医療機関には、桐生市医師会を通じ、同リーフレットを添付して市長名で通知している。

(啓発リーフレット)



黒保根地域の介護福祉

伏木 康雄（無党派）

質問 黒保根地域における介護サービスの現状は。

答弁 同地域には、特別養護老人ホーム「しみずの里」があり、定員五十人に對し五十人の入所があり、待機者は七十人である。同施設は、訪問介護やデイサービス、居宅支援事業所を併設しており、同地域の要介護認定者数と照らし合わせると介護サービスはある程度、網羅されていると思われる。



（黒保根支所）

質問 介護サービス以外の補助施策はあるか。

答弁 無料入浴券の利用できる施設や配食サービス、外出支援サービス等がある。

境野水処理センター

岡部 純朗（無党派）

質問 長寿命化策はどのようなに進んでいるのか。

答弁 平成二十一年度より長寿命化支援制度を利用し、老朽化の著しい汚泥処理施設から詳細調査、耐震診断、計画策定等を実施してきた。また、水処理施設は、調査が広範囲のため詳細調査、耐震診断を部分的に実施してきた。汚泥処理施設と旧事務所、水処理施設及び屋上運動公園の耐震診断を実施した結果、建設



（境野水処理センター）

時の耐震性能は有している。しかし、一部、新しい耐震基準を満たしていないことから、今後の長寿命化支援制度を利用して計画的に耐震対策を行いたい。

売店の出店基準は

小滝 芳江（フォーラム桐生）

質問 桐生が岡遊園地及び動物園の売店はなぜ公募

（桐生が岡遊園地）



による選定でないのか。

答弁 遊園地の基準は、指定管理者として出店団体を選定しているものである。

地産地消の考え方にに基づき、地元ブランド食材をメインにした「食」の提供や、桐生市を代表する「食」を提供しており、販売の実績も有し、広く社会的に認知されている団体を基準に選定している。動物園の基準は、開園当時、桐生が岡公園売店組合及び花山売店組合に加盟していた業者のみ、既得権益を認める形で出店を許可している。

各種委員の選出

【議会の議員】

議会選出の各種委員などについては次のとおりとなりました。

※選出依頼に基づき選出

◇ 桐生地域医療組合議会議員

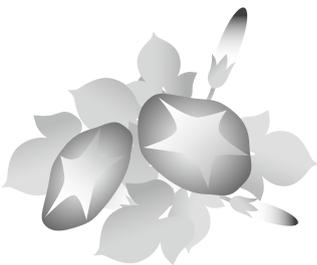
- 北川 久人
- 井田 泰彦
- 岡部 純朗
- 荒木 恵司

◇ 群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員

相沢 崇文

◇ 桐生市農業委員会選任委員

- 森山 享大
- 佐藤 光好



自転車事故防止のために

井田 泰彦（無党派）

質問 自転車保険の助成等の特典付き自転車安全利用講習会の開催について。

（駐輪場）



答弁 自転車は健康面、経済面、環境面から必ずばらしい乗り物だが、交通规则やマナーを守らないと大きな事故を起こす。市民が悲惨な事故に遭わないよう、交通安全施策を進めていく中で検討したい。

質問 子ども自転車運転免許制度を導入し、市内の全小学校で実施してはどうか。

答弁 安全運転の徹底を図るために、今までの交通安全教室の内容が一層充実したものとなるよう関係機関と連携し、研究していきたい。

人事案件

市議会は、次の人事案件一件に同意しました。

【監査委員】

荒木 恵司

（新任）



新特別委員会を設置

この定例会では、交通対策調査特別委員会の最終報告が行われ、承認されるとともに水質調査特別委員会の中間報告が行われました。

また、水質調査特別委員会設置に関する決議の一部を変更する決議案が議員より提出され、全員賛

成で可決し、委員の定数が7人から11人に改められました。

そのほかに地域政策調査特別委員会設置に関する決議案が議員より提出され、全員賛成で可決し、同特別委員会が設置されました。

地域政策調査特別委員会

◎調査事項

- 1 人口減少問題について
- 2 みどり市との合併について
- 3 議会改革について
- 4 幹線道路の整備について
- 5 公共交通の確保について

◎委員構成

委員長	荒木 恵司		
副委員長	福島 賢一		
委員	井田 泰彦	飯島 英規	
	周藤 雅彦	森山 享大	
	相沢 崇文	伏木 康雄	
	山之内 肇	幾井 俊雄	
	佐藤 幸雄		

水質調査特別委員会

◎調査事項

- 1 渡良瀬川及び桐生川並びに市内河川の環境・水質保全について
- 2 山元（古河）対策について

◎委員構成

委員長	園田 恵三		
副委員長	人見 武男		
委員	北川 久人	新井 達夫	
	岡部 純朗	渡辺 修	
	西牧 秀乗	周東 照二	
	小滝 芳江	佐藤 光好	

市議会本会議を

傍聴

してみませんか？

本会議は公開されており、議会傍聴受付で簡単な手続き（住所、氏名の記入）をすれば、自由に傍聴できます。傍聴席の定員は80人で傍聴希望者が定員を超えるときは、整理券

を発行して混乱を避けています。

なお、常任委員会（総務、経済建設、教育民生の3委員会）についても傍聴できますが、スペースに限りがありますので、傍聴を希望される場合は、事前に議会事務局までお問い合わせください。



この定例会では、議員報酬月額を平成二十五年十月一日から平成二十六年三月三十一日までの間、臨時特例的に百分の十減額する条例案が議員により提出され、審議の結果、賛成多数で可決されました。

議会の議員の 議員報酬の 臨時特例に関する 条例案を可決



（議事室ご案内）

桐生市議会 基本条例(案)に 関する 市民意見の募集

桐生市議会は、「市民に開かれた議会」「市民参加」「議会の活性化」を柱とした議会の最高規範として桐生市議会基本条例を制定します。

この条例(案)を提案するにあたり、「桐生市市民の意見提出手続きに関する条例」に準じて市民の皆さんからご意見を募集します。この条例(案)は、桐生市ホームページ、議会事務局議事課、情報政策課、新里支所及び黒保根支所で閲覧できます。

◇意見の募集期間
平成二十五年八月一日～三十日

◇意見の提出方法

住所、氏名、電話番号を記載の上、桐生市議会事務局へ直接持参、郵送、メールなどをお願いします。なお、桐生市議会の住所及びホームページアドレスは八ページをご覧ください。

主な議案

(議決結果についてはページをご覧ください。)

●公益的法人等への職員
派遣等に関する条例の一部
を改正する条例案

締結について

概要

●財産取得(分団用消防
ポンプ自動車)について

概要

●桐生市消防救急無線デ
ジタル整備工事請負契約の

の給料の臨時特例に関する
条例案

概要

●一般職の職員の給料の臨
時特例に関する条例案

概要

●市長、副市長及び教育長



(桐生市消防本部)



(桐生市役所)

請願の審査結果

この定例会では、請願2件が提出され、審査の結果、いずれも閉会中の継続審査となりました。

◎閉会中の継続審査となった請願

付託委員会	受理番号	件名
経済建設委員会	第18号	「最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書」提出についての請願
教育民生委員会	第19号	子ども・子育て支援新制度の導入に関する意見書提出を求める請願

議会報告会・
意見交換会の
開催結果について

過去の議会報告会・意見交換会の開催結果は、各支所、各公民館、桐生市保健福祉会館及び桐生市総合福祉センターで閲覧できますので、ぜひご利用ください。



一般会計の補正予算

◎平成25年度桐生市一般会計補正予算(第1号)

可決

概要

歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ9,302万7,000円を増額補正して、予算総額を429億302万7,000円としたもの。

歳出予算の主な補正内容

- 総務費交通対策費
バス交通対策事業 881万4,000円の増額
(黒保根町デマンドタクシー運行費への補助)
- 衛生費予防接種費
予防接種事業 700万円の増額
(風しん予防接種委託)
- 土木費地方道改修費
長尾根整備事業 6,800万円の増額
(道路新設改良工事)
- 教育費体育施設費
施設整備事業 160万7,000円の増額
(桐生スケートセンターブライン配管改修工事費)

平成25年 第2回定例会 議案と結果

○：賛成 ×：反対 △：退席 ー：除斥

議案番号・議案		議員氏名														結果								
		北川久人	人見武男	井田泰彦	飯島英規	新井達夫	岡部純朗	渡辺雅彦	周藤享大	森山恵司	荒木崇文	相沢秀乘	伏木康雄	山之内肇	周東照二		小滝芳江	幾井俊雄	佐藤光好	福島賢一	佐藤幸雄	園田恵三		
市長提出	議案第44号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第45号	財産取得(消防ポンプ自動車)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第46号	財産取得(消防ポンプ自動車(四輪駆動))について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第47号	財産取得(分団用消防ポンプ自動車)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第48号	財産取得(高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第49号	桐生市消防救急無線デジタル化整備工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第50号	平成25年度桐生市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第51号	市長、副市長及び教育長の給料の臨時特例に関する条例案	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第52号	一般職の職員の給料の臨時特例に関する条例案	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第53号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出	議第1号議案	議会の議員の議員報酬の臨時特例に関する条例案	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議第2号議案	水質調査特別委員会設置に関する決議の一部を変更する決議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議第3号議案	地域政策調査特別委員会設置に関する決議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議第4号議案	衆議院小選挙区の選挙区割りの更なる見直しを求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議第5号議案	「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の法制化を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

議員の暑中見舞状・寄附などは法律で禁止されています。

公職選挙法により、議員は次のことを禁止されています。市民の皆さんのご理解をお願いします。

- ◎暑中見舞状などの挨拶状を出すこと。
- ◎寄附をすること。
- ◎本人が出席しない慶弔に祝儀や香典を出すこと。

お知らせ

★次回定例会の開催予定は…

8月27日(火)です。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。

平成25年第2回定例会の会議録は、9月上旬からご覧になれます。なお、会議録は桐生市ホームページからでもご覧いただけます。

衆議院小選挙区の選挙区割りの更なる見直しを求める意見書

衆議院小選挙区選出議員の選挙区の区割りについては、平成25年3月28日に衆議院議員選挙区画定審議会が平成22年の国勢調査の結果に基づき、内閣総理大臣に見直しの勧告を行い、関連する法案が4月23日に衆議院で可決されたところである。

この勧告により17都県42選挙区の区割りが見直され、1票の格差は2倍以内に是正される。しかし、平成の大合併により選挙区が分割された市町村の区割りの見直しは不十分である。

桐生市においては桐生地区が群馬県2区、新里・黒保根地区が群馬県1区に分割されており、合併後の地域住民の一体感を著しく損なっているのみならず、まちづくりに大きな影響を及ぼしている状況にある。また、選挙事務においても効率性を損ねている現状がある。

よって、国においては、地域住民の一体感の醸成による市町村の健全な発展と地域の実情を適切に反映する選挙の実施のため、衆議院小選挙区の選挙区割りの更なる見直しが早期に行われるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先 ○衆議院議長 ○参議院議長 ○内閣総理大臣 ○総務大臣

「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の法制化を求める意見書

現在、国民の「こころ」は深刻な状態にあり、平成24年は減少したものの、平成10年から平成23年まで14年間毎年3万人以上の人々が自殺によって命をなくしている。更に320万人を超える人々、つまり国民の40人に1人以上が精神疾患により医療機関を受診しており、さらなる増加傾向を示している。自殺と精神疾患との密接な関わりや児童期のこころの健康問題等が、関係各方面から指摘されており、こころの健康と精神疾患の問題は、まさに国民の健康及び生活上の重大な問題となっている。

しかし、わが国における精神保健医療福祉の施策は、こうした問題に対応するには不十分な状況にあり、また、多くの困難を抱える精神障害を持つ人の家族に対する実効的な支援も求められている。

そこで、このような状態を改善し、国民が安心して生活ができる社会を実現するためには、こころの健康を国の重要施策と位置づけ、総合的で長期的な政策を実行することが必要である。

よって、桐生市議会は、国会及び政府に対し、国民すべてを対象とした、こころの健康についての総合的、長期的な政策を保証する「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」を早期に制定されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先 ○衆議院議長 ○参議院議長 ○内閣総理大臣 ○文部科学大臣 ○厚生労働大臣